

天竜だより

3

自然の恵みを生かした つるかご編み体験！

天竜森林管理署では、国有林内のつる植物を使って、秋に2回のつるかご編み体験を行っています。今年度も「第15回 森の感謝祭」と「浜松花と緑の祭 2010」に当署も参加し、「つるかご編み体験」を行いました。両イベントともたくさんの方々に参加して頂き、自然の恵みを生かしたものづくりを楽しんで頂きました。

参加して頂いた多くの方々から「これは何のつる?」「つるってどこでとったの?」などつるについての様々な質問を頂いたので、つるについて少し紹介します。

つる植物って?

つる植物は、ほかの木などを支えにし、茎を伸ばしていく植物です。今回のイベントでは、アケビとふじのつるを主につかいました。紫色の甘い果実がなるアケビと、5月～6月頃に紫色の美しい花が房になって咲くふじ。みなさんもよくご存じではないでしょうか？どちらのつるも弾力があり、つるかごのような細工物を作るのに適しています。



あけび (アケビ科)



フジ (マメ科クズ属)

木につるが巻きつく??

つるかご編みに使われている“つる”を採った場所の様子です。フジやアケビなど木に巻き付きながら育っていくつる植物が多く、放っておくと、木の幹に食い込んでしまいます。

つるが幹に食い込むと、光合成によりつくられた糖分が移動できなくなり、幹が部分的に異常肥大してしまいます。木が変形してしまうと、木材としての利用価値がなくなってしまう上、風や雪などで折れやすい木になってしまいます。

なので、木を育てる作業のひとつとして、木の成長を阻害しないようにつるを丁寧に取り除く“つる切り”という作業を行います。



つるが木を締めつけている!!



↑ 竹ぽっくり作りは竹を切るところから。初めてのこぎりを使う子もたくさんいました。はじめての道具を使ってみるのも、子供達にとってはよい経験ですね。



↑ 一生懸命つるかごを編んでいた男子。今回のつるかご編み、様々な世代の方に楽しんでいただきました。



↑ 今回つるかご編みの作り方の説明資料を作成し、参加者の方々に配布しました。くずなど、身近にも様々なつる植物があるので、この資料をみてまた作っていただけたらと思います。

浜松花と緑の祭 2010

10月16日・17日の2日間、浜松市のアクト通りおよび東ふれあい公園において第41回秋の都市緑化祭「浜松花と緑の祭 2010」が開催されました。「浜松花と緑の祭 2010」は浜松市主催の「花と緑のまち・浜松」を広く市民の方々にPRするためのイベントです。当署も毎年参加しており、今年度もつるかご編みを行いました。当署からは各日7名の職員が参加し、つるかご編みの指導を行いました。



↑ 天竜森林管理署のブースの様子。“森林の手入れの仕方”や“つるについて”のパネル展示も行いました。こういったイベントを通じて、多くの方々に森林や林業のことを知っていただけたらいいと思います。



↑ 昨年度のこのイベントは大雨でしたが、今年度はとてもよいお天気で、多くの方に参加して頂くことができました。



↑ できあがった作品を持って。つるにもいろんな太さや色のものがあるので、様々な形のつるかごに仕上がっておもしろいです。

森林の手入れをすることによってできたつるや木などを生かしたこのようなイベントを行うことで、これからも多くの方々に森林のことを知っていただいたり、自然を楽しんでいただけたらと思います。

